

2018年5月9日

「メガスポーツイベントにおける責任ある調達の実施」 ワークショップ開催のご案内

2018年6月5日（火）午前9時から午後4時

於：タイ・バンコク

拝啓 新緑の候 貴社におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。来る6月5日、メガスポーツイベント・プラットフォームと経済人コー円卓会議日本委員会は、「メガスポーツイベントにおける責任ある調達の実施」と題するワークショップを、タイ・バンコク（アマリ ウォーターゲート ホテル）に於いて開催致します。

本ワークショップは、東京2020大会のスポンサー及びサプライヤー（今後、スポンサー及びサプライヤーとなる可能性のある企業も含めて）を対象に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、組織委員会）が昨年3月に策定した「持続可能性に配慮した調達コード（第1版）」（木材、紙、パーム油、水産物といった個別基準を含む）の内容と、その要件を満たすための実例をより良く理解することを目的として実施いたします。

また、この調達コードはサプライチェーン全体に適用されます。多くのスポンサーおよびサプライヤー企業の事業やそのサプライチェーンはアジア（タイ・中国やその他の地域）に広がることから、この要件を満たすことが期待される企業もまた広くアジアに存在するものと思われまます。このため、今回、スポンサーおよびサプライヤー企業の本社のみならず、国内外の子会社やサプライヤーの参加を促す目的で、タイ・バンコクにおいて開催することといたしました。

なお、本ワークショップは、組織委員会の調達手続きの一環として開催されるものではなく、また、本ワークショップへの参加が組織委員会との取引を保証するものでも、組織委員会との協働を約束するものでもありません。

ワークショップ実施の背景

近年、組織委員会といったメガスポーツイベントの主権者に対して、メガスポーツイベントのサプライチェーン上にある人権への負の影響を特定・防止・対処することを求める声が高まっています。これに応えるべく、組織委員会は2017年3月に「持続可能性に配慮した調達コード」を公表し、ここにおいて人権項目を網羅しています。今、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会がこの調達コードをどのように適用し、そして東京2020大会における人権尊重がどのように実現されるかに、高い関心が集まっています。

経済人コー円卓会議日本委員会とメガスポーツイベント・プラットフォームは、組織委員会、スポンサー、サプライヤー企業における人権尊重の取組みを支援するべく、「人権リスクの理解」「実践例の共有」「苦情処理メカニズムの構築と検証」に焦点を当て、活動を展開しています。2017年9月13日、東京2020大会の開催に関わる関係者ととも、人権尊重の実践例、苦情処理メカニズムの構築に向けた課題を共有するためのワークショップを初めて東京で開催しました。実施報告書は、以下のサイトにてご覧いただけます。<https://www.ihrb.org/focus-areas/mega-sporting-events/tokyo2020-meeting-report-sep-2017>

是非、スポンサー企業およびサプライヤーである自社の本社のみならず、国内外子会社ならびに、またそのサプライヤー企業をお誘いの上、ご参加ください。ご関心がおありと思われる方への転送を歓迎いたします。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

平成 30 年 5 月 9 日

矢野 弘典



特定非営利活動法人経済人コー円卓会議日本委員会
会長
矢野 弘典

メガスポーツイベント・プラットフォーム
事務局
ジョン・モリソン (John Morrison)

オリンピック・パラリンピック競技大会は、世界最大規模のスポーツイベントであり、その開催はスポーツの分野だけでなく、社会経済等、多岐に渡る影響を及ぼす一大事業です。また、その影響は、開催都市である東京のみならず、日本全体、さらには世界にまで広く及ぶものです。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会は、東京2020大会を持続可能な大会とするため、「持続可能性に配慮した運営計画」を策定し、活動を推進していきます。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会ウェブサイトより転載

実施概要

- 題 名：ワークショップ「メガスポーツイベントにおける責任ある調達の実施」
- 主 催：経済人コー円卓会議日本委員会、メガスポーツイベント・プラットフォーム
- 日 時：2018年6月5日（火）午前9時から午後4時
- 会 場：アマリ ウォーターゲート ホテル（タイ・バンコク市内）
- 参 加 費：無料 ※日本からタイまでの交通費、および国内移動費は各自ご負担ください。
- 使 用 言 語：英語およびタイ語を予定しております。必要に応じて日本語を追加いたします。
通訳あり。
- 対 象：ワールドワイドオリンピックパートナー、東京2020オリンピック・パラリンピックゴールドパートナー、オフィシャルパートナー企業、これに関連するサプライヤー、東京2020大会に商品やサービスを提供するサプライヤー（その可能性も含めて）の、五輪・CSR・人権・調達部の担当役員および部門責任者。各社2名までのご参加いただけます。3名以上のご参加を希望される方は、お問合せください。
- 定 員：40名
- 申込締切日：2018年5月28日（月）
- 申 込 方 法：申込フォームよりお願いいたします。<https://www.ihrb.org/msesupplierworkshop>

ご質問がございましたら、経済人コー円卓会議日本委員会 (info@crt-japan.jp) まで、お問い合わせ下さい。

経済人コー円卓会議日本委員会 (Caux Round Table Japan)

経済人コー円卓会議 (CRT) は、ビジネスを通じて社会をより自由かつ公正で透明なものとすることを目的としたビジネスリーダーのグローバルネットワーク。経済人コー円卓会議日本委員会 (Caux Round Table Japan)は、人権尊重に向けた企業の取組みを支援する。<http://crt-japan.jp/>

メガスポーツイベント・プラットフォーム (the Mega-Sporting Events Platform for Human Rights)

政府・国際間組織・スポーツ団体・選手会・労働組合・スポンサー企業・メディア・NGO といったマルチステークホルダーから構成されるプラットフォーム。メガスポーツイベントのライフサイクル全体における人権尊重に焦点を当て、イベント実施に係わるすべての関係者が人権尊重の義務と責任を理解し、受け入れ、これに対応することをミッションとして掲げている。このためのダイアログや協働の取組みを展開する。これまでに、日本、カタール、スイス、アメリカにおいてイベントを実施しており、イベント主催者やスポンサー企業等が参加している。

プログラム (予定)

09:00 開場

09:30-10:00 開会の挨拶

10:00-10:30 東京 2020 大会からの観点とグローバルトレンド

10:30-11:30 メガスポーティングイベントにおける主要なサプライチェーン上での人権リスク

11:30-12:30 持続可能性に配慮した戦略の実践例

12:30-13:30 昼食

13:30-15:00 サプライヤーの視点

15:00-15:30 メガスポーティングイベントの主催者による本日の振り返り

15:30-16:00 閉会の挨拶

16:00 終了